

子どもたちの元気な声が響き渡る町に

開成町長 府川 裕一

あけましておめでとうございます。

昨年は、町制施行60周年の記念の年でした。

新たなロゴマークを制定し、公式マスコットキャラクター「あじさいちゃん」にも様々なところで活躍してもらい、開成町のブランド力を高めてきました。「あじさいちゃん」は「ゆるキャラグランプリ2015」にも挑戦し、総合ランキングでは161位、ご当地ランキングでは神奈川県内で3位という好成績を収めました。

また、広報かいせい（5月号・10月号）の表紙がA P Aアワード2016（公益社団法人 日本広告写真家協会主催）広告作品部門で入選いたしました。この賞は「心を動かす作品」という観点で審査され、入選作品は「年鑑 日本の広告写真2016」に掲載されるほか、日本を代表する優秀作品として海外展の対象にもなるものです。開成町の名を全国に発信することができ、新たなスタートにふさわしい年でした。

しかし、町の外に目を向けると、昨年は火山の噴火や洪水など災害の多い年でもありました。そこで、今年1年間の思いを「前程万里」としました。開成町があらゆる災害に打ち勝ち、未来が果てしなく開いていくことを目指します。

神奈川県が2020年の東京オリンピック・パラリンピックに合わせ、箱根町と南足柄市を結ぶ道路を開通させます。これをチャンスと捉え、瀬戸屋敷周辺の整備を進め交流人口を増やし、更なる活性化を目指します。

また、子育て・教育分野についても引き続き力を入れていきます。4月には開成駅東口に常設型の子育て支援センターをオープンし、保護者がいつでも気軽に立ち寄って、子育てに関する悩みを相談できるようにします。

未来への夢と希望を持ち、いきいきと暮らすことができる活力のある町となるように教育の総合的な方針となる「開成町教育大綱」を策定します。学力も体力も道徳心も優れた子どもを育てるため、地域の皆さんの力を借りて体験学習ができる環境を整えていきます。その取り組みの一つとして土曜学校を創設します。町内の企業・事業所での職業体験や科学実験教室、郷土の偉人に学ぶ教室など土曜日ならではのプログラムを用意します。

今年も皆さんのところへ積極的に伺い、様々な意見をお聞きし、町民の皆さんと同じ目線で考え、行動したいと思っています。一緒に元気な町を創っていきましょう。

